



from SINGAPORE, GERMANY, TURKEY & UAE  
**新世代ムスリムを惹きつける。デザイナーズ・モスク**

**Architecture**  
 建築ってすばらしい

**SINGAPORE** シンガポール  
 名称: アンジャナー・モスク  
 完成: 2004年  
 設計: フォーラム・アーキテクト

シンガポール国立大学で教鞭を執る建築家、ケン・コウ・ヒョン率いる建築グループが設計。多民族国家シンガポールの文化を考慮し、マレー系信者と中国系信者がともに寛げるようなスペースを作った。内部は明るく開放的で、流線形を生かした未来的なデザインが特徴。

西側先進国では、騒音規制によってアザーン（礼拝時の告知）が呼びかけられないことも多い。それなら、信者に礼拝を呼びかけるための尖塔は必要なのか？ 世界で13億人とされるイスラム人口のうち、ほぼ3分の1がイスラム教国以外に居住しているだけに、開

モスクにドームと尖塔（ミナレット）がつきものだったのは昔の時代。最近では、従来のイメージにとらわれない斬新なデザインの建築が続々と登場している。欧州ではイスラム教徒が急増しており、10年前に1200万人ほどだったのが、現在では2000万人にのぼる。イタリアでは今世紀に入ってからモスクの数が増増。ドイツやフランスでも同じ傾向にあり、製菓工場やサウクラフト工場を改造したモスクもあれば、キリスト教の教会がモスクになっている例さえある。モスクの「二形」も変わりつつある。

モスクにドームと尖塔（ミナレット）がつきものだったのは昔の時代。最近では、従来のイメージにとらわれない斬新なデザインの建築が続々と登場している。欧州ではイスラム教徒が急増しており、10年前に1200万人ほどだったのが、現在では2000万人にのぼる。イタリアでは今世紀に入ってからモスクの数が増増。ドイツやフランスでも同じ傾向にあり、製菓工場やサウクラフト工場を改造したモスクもあれば、キリスト教の教会がモスクになっている例さえある。モスクの「二形」も変わりつつある。

**WORLD IN NUMBERS**  
 数字で見る世界

**41人**

北極点と南極点の両方に、徒歩で歩いたことがある人の数。

**61%**

世界人口に対する携帯電話の普及率（2008年時点）。世界全体で約40億台の携帯電話が契約されている。

**4割**

米国の大学のMBA課程在籍者のうち、女性が占める割合。だがフォーチュン500企業のみならず、女性CEOはわずか2人にすぎない。

**36億人**

ボリウッド映画の年間総興行収入。ハリウッド映画の興行収入20億人を大きく上回る。

**60%**

ヨーロッパ圏の若者のうち、英語を「上手に」または「とても上手に」話せる人の占める割合。

**65万円**

米国人が保険を含む医療に費やす金額（年間一人あたり）。カナダやヨーロッパ諸国と比べて、約2倍の額だ。

グローバルIST (USA) 24

The Global Fact Facts is compiled by The Globalist, a Washington-based research organization that provides summaries of world affairs. © 2009 The Globalist. www.globalist.com



**PENZBERG** ドイツ  
 名称: イスラミック・フォーラム  
 完成: 2005年  
 設計: アレン・ジャサレビッチ

ガラス製のブロックと白い光沢のある石を用いた入り口は、開いた木の形を模している。地元住民とイスラム教徒の交流の場となるよう、大きな窓や開口部を設けた。

**ISTANBUL** トルコ  
 名称: シヤキリシ・モスク  
 完成: 2008年  
 設計: セイキョフ・ファジロウ

女性建築家が手がけた初のモスク。女性信者は通常、壁やカーテンで男性の目から遮られるが、ここでは女性用に空やバルコニーを設置。男性エリアと隔てるのは繊細な橋のみという革新的なデザイン。



**DUBAI** アラブ首長国連邦  
 名称: フローティング・モスク  
 完成: 2011年（予定）  
 設計: ワーナー・ホフ

オランダの設計会社がドバイの沖合に建築中。従来の基本構造がヘルシヤ湖に浮かしたかのような外観。発泡材などをふんだんに使い、海水をくみ上げて天井や外壁を冷やすことで、内部を涼しく保つ。



一方で、トルコのシャキリン・モスクのように、伝統に倣いながらも女性信者を平等に扱うなどの新たな試みも生まれている。英国マンチェスターには、再生木材を使い、ソーラー発電で床暖房のエネルギーをまかなう、地球に優しいモスクも現れた。

誰や誰は居ない。昨年、著名な建築家を受賞したドイツのイスラミック・フォーラムは、レイスのように繊細な尖塔が特徴的。だがそれがアザーンを響かせることはなく、周辺住民との調和を図っている。オランダで建築中のアンナスル・モスクの尖塔は、透明なガラス素材になる予定。ムアジンと呼ばれる者が尖塔から呼びかけるアザーンの代わりに、光で礼拝を呼びかけるという新機軸だ。イスラム教徒は光を頼りに、町のどこからでも礼拝することができるようになる。